

■ はいだん きょしやう
俳壇の巨匠

石井 露月

いしい ろげつ

出身地 秋田市（旧雄和町）

1873年（明治6年）～1928年（昭和3年）

まさおかし き はいく かくしん ちいき いりやう
正岡子規の俳句革新運動に共鳴。地域医療のかた
わら、しまごう はいし はいせい
島田五空らと俳誌『俳星』を発売し、秋田の
近代俳句の先駆者となる。句集『露月句集』、文集
『蝸を聴きつつ』がある。



年譜

- 1873年 秋田市（旧雄和町）に生まれる。本名・祐治。
- 1894年 新聞「小日本」主幹・まさおかし き ちぐう
正岡子規の知遇をえる。
- 1896年 医師試験に合格。
- 1897年 はいし
俳誌『ホトトギス』の選者となる。
- 1899年 めめき
女米木村（現・秋田市雄和）に医院を開業。
- 1900年 ごくう ほくがい はいせい
島田五空、佐々木北涯らと『俳星』を刊行。
- 1908年 めめき
女米木青年団を組織し団長となる。
- 1916年 はいし かわらかわ さんが
俳誌『瓦川』改題し『三峨』となる。
- 1923年 うんしやう そうかん ついとう こがらすおやがらす
俳誌『雲蹤』を創刊。長女追悼集『子鴉親鴉』刊行。
- 1928年 秋田市（旧雄和町）で没。55歳。